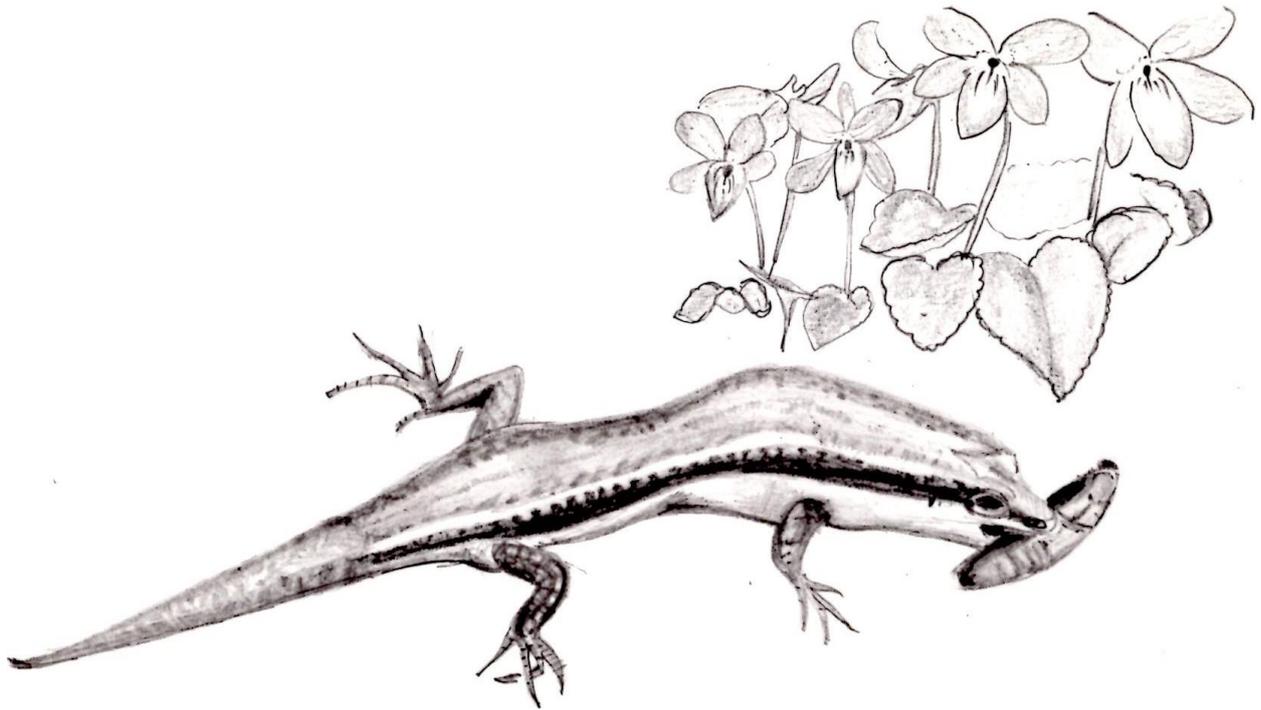




ゴロスケ報々



ニホントカゲ

●トンボ池を掘ろう●

友の会行事のお知らせ

トンボ池はトンボなど水棲昆虫の繁殖場所のみならず、ヤマアカガエルの産卵場所としても機能する可能性があり、その保全は喫緊の課題です。会員の力で泥を掘上げ環境を保全しましょう。

1. 対象 : 会員（中学生以上限定） 事前申し込み不要
2. 実施日時 : 平成30年5月6日（日）9時10分～11時（少雨決行）
3. 集合場所 : センター前
4. 持ち物など : 汚れて良い服装、帽子、飲み物、軍手、可能なら長靴

担当：カワセミファンクラブ

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●3月定例会報告●

日時 2018年3月18日(日) 9:00~10:30

出席者 青木、山口、大浦(議長)、落合、片岡、篠原、島根、関根(書記)、高橋、村松、中里、西山、谷垣、八田、山田、吉田、渡部、掛下R、尾崎R

議事

1. 友の会の行事報告、プロジェクト報告をしました。年間計画通りの行事を実施しました。
2. 友の会の行事予定を確認しました。
3. ごろすけ館の利用予定を確認しました。
4. 事務局より
 - ・4月1日に開催される「友の会総会」の資料の確認を行いました。
 - ・総会へ向け、日程を確認しました。
 - ・次年度の「森を守るボランティア体験」、ゴロ報「ふむふむ」「定例行事の報告」の担当を確認しました。
5. センターより
センターだよりのページをご覧ください。

次回の定例会は5月20日(日)9時から センター研修室で
定例会は会員どなたでも参加できます。

●3月理事会報告●

日時 2018年3月18日(日) 11:17~12:35

出席者 青木、漆原、大浦、落合、志釜、関根、谷垣、中里、中塚、西山、村松、吉田、山口、掛下R、尾崎R (欠席:秋元)

議題

- 1 定期総会準備
 - ・長期目標の課題整理として「会員向けアンケート調査とワークショップ開催」実施報告書を確認しました。
 - ・30周年のイベント(講演会講師、たたら製鉄募集等)、記念品(種類・数量・配布等)の内容を確認しました。
 - ・議案(主に特別会計予算)、理事監事選出、進行・準備等について確認しました。
- 2 安全管理
 - ・次年度講習会(レスキュー講話)の企画内容を確認しました。
 - ・事故等なし。
- 3 その他(特になし)

<次回理事会>

日時 5月20日(日) 10:40~12:30

場所 自然観察センター研修室

- 議題
- 1 理事役割分担
 - 2 長期目標&30周年準備
 - 3 利用推進会議について
 - 4 安全管理
 - 5 その他

●第30回定期総会の報告●

日時 2018年4月1日(日) 10:00~11:00

場所 自然観察センター研修室 出席者会員15名+レンジャー2名

議案 2017年度事業報告、決算・監査報告、2018年度事業計画、予算、理事・監事選任

定期総会が開催され、議長に片岡章さんを選出、議案はいずれも原案どおり承認されました。2018年度も中期計画(2016-19 ごろすけ館活用等の情報発信と保全管理計画を活かす活動)の実施及び友の会設立30周年記念事業にご協力のほどよろしくお願い致します。

<2017年度報告> (人数は参加延べ人数。 ※・・・アライグマ捕獲罟巡回活動含む)

友の会行事 25 項目・152 回 (会員680 人、一般1,161 人)

センター行事支援※ 5 項目・69 回 (会員197 人、一般 562 人)

ネットワーク活動 5 項目・7 回 (86 人)

会議等 5 項目・19 回 (213 人)

行事報告 合計 40 項目・247 回 (会員1,176 人、一般1,723 人)

PJ活動 36 項目・471 回 (2,876 人)

事務局内調査等活動 3 項目・19 回 (73 人)

事務局事務 4 項目・42 回 (112 人)

PJ活動報告 合計 43 項目・532 回 (3,061 人)

<2018 年度計画>

行事計画 44 項目・213 回 ※ (内、友の会行事(主催・共催) 163回)

PJ活動計画 46 項目・573 回

<理事・監事選任>

PJ 枠 : 秋元・大浦・落合・小島・志釜・中里・西山・村松

事務局枠 : 青木・漆原・関根・中塚・吉田

会員公募枠 : 山口

監事 : 大越・水上

<センターより>

レンジャー異動・挨拶がありました。

(終了後、臨時会(臨時の定例会)が開催され、30周年イベントの趣旨の確認及び周知を行いました。)

三宅島一周ウォーキング

私は日本の離島が好きでかつ歩くのも好きで、今回三宅島一周ウォーキングに妻とともにいってきました。伊豆7島のうち八丈島、神津島、伊豆大島はすでに行っております。

三宅島は東京から南へ175km、面積55平方キロ、周囲38kmの火山島です。現在の総人口は2900人で、2000年の噴火、そのあとの6年間に及ぶ島外避難の前の半分だそうです。

島は200種以上の野鳥で知られ、なかでもツグミ科のアカコッコが有名です。

江戸時代は流人の島としても知られております。有名な絵島生島事件の歌舞伎役者生島新五郎はここに流され、ここで一生を終えました。そのほか絵師のはなぶさ一蝶などです。

金曜日の夜10時半、竹芝棧橋から橘丸で出航です。ツアーの総勢は30人。2人の若者以外はたぶん65歳以上の熟年でした。自分も熟年ですが歩くためのツアーにこれほどの年寄りかとびっくりでした。

島には定期船が発着可能な3港がありその日の風向き、波の状況によってどれかの港に発着します。この日は伊が谷港に朝5時到着し、民宿で休み8時半から時計回りで北側の釜の尻海岸から歩き始めました。その日は島の南側の阿古地区までの約20kmを歩きました。島は火山島で何回も大噴火があり溶岩が雄山から海岸に流れ落ちました。そのため流れ落ちた先にあった村落が溶岩に埋まりました。その一つの椎取神社の鳥居が一番上の横木だけが地上にあり火山のすさまじさを実感できました。

溶岩で覆われた土地も緑が回復しており、まずヤシャブシというはんの木の仲間が生えておりました。この木をパイロットツリーというそうです。

江戸時代は年貢を塩で納めていたそうで、海水を煮る釜がつく地名が釜の尻海岸とか釜方海岸とかがあります。

一日の旅の終わりにアカコッコ館に立ち寄りしました。以前観察の森でレーンジャーをしていた黒川マリアさんがここに勤務されておりお会いすることができました。館の観察窓の前に泥田がありなんとそこに餌をとりに来たアカコッコがおり観察できました。胸から腹が赤茶のとりでした。ラッキー。

2日目は北側から反時計回りで約8km歩き、全周の8割をあるいたことになります。

青い空と海、雄大な雄山を堪能した歩き旅。きつかったけど楽しかった旅でした。

雑木林ファンクラブ 吉田

●畑プロジェクト 活動報告●

2017年度の畑行事「畑と作物を作ろう」は、8月を除く毎月の第三土曜日に10時から行いました。幼児や学童を含む延べ23人の参加者があり、農作業を体験していただきました。参加した子供たちが一生懸命作業し、また畑で出会う虫たちに目を輝かしていたのが印象的でした。

年度最後となった3月17日は、時々参加していただいている方1名とともに、ムカゴから育てたヤマイモの苗を畑に植え付けました。数年後には、掘り出すのが大変なくらい大きくなることを期待して、世話をしていきます。

会員の皆様も、気楽に畑行事ご参加ください。

畑プロジェクト 落合道夫

●森を守るボランティア体験(2月) 報告●

2月18日(日)

テーマ「冬の野鳥を観察・記録しよう」

天候に恵まれる中、親子連れを含む一般参加者8名の参加を得て冬の野鳥の観察・記録体験を実施しました。ノスリ、ジョウビタキ♀、コゲラなどが観察でき、歓声も沸く状況でした。終了後は参加者の応援も得てゴロ報発送作業を実施、5名の新入会者も獲得できました。

担当：カワセミファンクラブ

●定点カメラで動物調査●

観察の森の中の散策路から一歩森の中に入ると、そこは動物たちの世界です。森の中に設置したカメラには、そんな動物たちの世界が写っています。動物が横切ると自動的にシャッターが下りる仕組みなので、飾らない素顔が写ります。タヌキがあんな姿をしたり、ウサギがこんな姿をしたり・・・

そんな動物たちの姿を記録し、変化を調べる調査を行っています。動物の見分けがつかなくても、1回だけの参加もOKです。活動は5月～11月の毎月第2土曜日の9時半～12時。5/12（土）はカメラの設置、6/9（土）はカメラの回収、写真チェックを行います（カメラの設置、回収は友の会会員対象）。雨天の場合には日程を変更する可能性がありますので、当日自然観察センターにご確認ください。汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参。着替えもできます。

●森の作業体験(炭焼き)●

炭焼き体験会 ～炭焼き、木工を楽しもう～

炭焼き体験の他、木工体験（コースター作りや竹細工など）ができます。

日時：5月19日（土）9：00～14：00

場所：横浜自然観察の森 炭小屋

対象：小学生以上30名（4月1日から受付、申込順）小学生は保護者同伴

服装と持ち物：汚れてもいい服装（長袖長ズボン）、スニーカー・帽子・軍手・汗ふき用タオル・
昼食・飲物

雨天：前日夜間の天気予報で降水確率50%以上は中止です。

申込：5月11日（金）までに、下記のFAXかメールをお送りください。

「炭焼き体験会参加」、参加者全員のお名前（子供さんは年齢）、連絡先電話かFAX番号又はメールアドレスをご記入下さい。

FAX 045-894-8892（自然観察センター） メール：kansatsunomori@gmail.com

担当：横浜自然観察の森 友の会 雑木林ファンクラブ

●2018年度 安全管理講習●

今年度の安全管理講習のご案内です。

私たちの活動する横浜自然観察の森を含む円海山緑地は、大都市近郊とは思えないほどの深い森です。

時には事故の発生や行方不明者の捜索など予期せぬ事態も発生しています。

そこで今回は、円海山での事故の状況や実体を踏まえ、消防と環境創造局という行政が円海山での市民の安全を守る仕組みについて、またそれを私たちとの活動の中でどう活かせばよいのか、について学ぶ内容としました。

ぜひ、ご参加ください。

1. タイトル 「円海山緑地での安全な市民活動と利活用」

2. 趣旨と内容

横浜自然観察の森を含む円海山での安全なボランティア活動、来園者や散策する歩行者の安全管理のため、円海山域における事故の状況、事故対応や予防の体制、地図やポストの設置状況などを、円海山緑地での防災と救急救命を担当している消防と横浜市の環境行政の立場から話しを聞く。

3. 実施日時 2018年6月2日(土) 13時30分～15時

4. 場所 横浜自然観察の森 自然観察センター 研修室

5. 講師

1) 横浜市消防局 栄消防署 上郷消防出張所二係 隊長

上郷消防出張所は横浜自然観察の森を含む円海山緑地を担当区域として、日常より近隣の消防とも協力しながら、緑地内を定期的に巡回し、危険箇所や救助隊の行動に必要なルートの確認などを行っている。

今回は事故と救難・救命の事例を含め、消防による予防と救助の体制、市民として安全に活動するための心得などについて聞く。

2) 横浜市環境創造局みどりアップ推進課 講演者未定

みどりアップの立場から、円海山緑地を中心とした「つながりの森」の安全管理や案内標識などに関連するフィールド整備の考え方や利用マナーの考え方を聞く。

申込と締切：5月27日(日)までに、プロジェクトのリーダー経由または定例会メールリストでご連絡ください。

担当：中塚(安全管理担当理事)

YOKOHAMA NATURE SANCTUARY NEWS 4

横浜自然観察の森・自然観察センターだより

2018年 4月号

☆2018年度のレンジャーです。よろしくお願ひします☆

チーフ・全体統括・
環境管理主担当・環境調査担当
掛下 尚一郎

みなさんの温かいサポートのお陰で、充実した一年を送ることができました。友の会設立30周年と一緒に盛り上げていきたいと思ひます。今年度もよろしくお願ひします。

ウェルカムセンター事業・
環境教育主担当
尾崎理恵

20周年を皆様とご一緒したのがついこの間のように思ひます。今年度は設立30周年。全力でサポートしていきます。

環境教育・環境調査担当
大久保香苗

友の会のみなさんに遅れないように、日々の生き物たちの変化を追いかけていきたいと思ひます！今年度もみなさんとたくさんの発見を楽しみたいです。



かげした



ぬか



おがさき



くろかわ



おおくぼ



いわぶち



ささき



おか



やまざし

環境調査主担当・
環境管理担当
奴賀 俊光

2年目の「ぬか」です。水辺から転職してきて山の鳥もだいぶ思い出してきました。森にも慣れてきましたので、今年度もよろしくお願ひいたします。

環境管理・環境教育担当
黒川麻紀野

管理担当ということで外を歩きますので買ったカメラを持ち歩いて色々な動植物をとれたらなと思ひます。よろしくお願ひします。

環境教育・環境調査担当・
環境管理補佐

岩淵真由美 (着任)

はじめまして、岩淵真由美と申します。今年の2月に栃木県から引っ越してきました。野鳥をはじめ、生きもの全般が大好きです。気持ちの良い森の中で、ただボーっとしていることも大好きです。自然観察の森で、皆さんとともにたくさんの発見をしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

カウンターで
お迎えます！
岡 みつる
佐々木 美雪

山岸 洋樹 (離任)

直接プロジェクトに関われませんが、カウンターにいたことが多く友の会の皆さんには様々なことを教えていただきました。ありがとうございました。H30年度は不定期でカウンターを担当する予定なので、その際は引き続きよろしくお願ひいたします。

にがおえ：尾崎理恵

プロジェクト担当

事務局 (掛下・尾崎)
畑プロジェクト (岩淵・掛下)
PJ-STRIX (掛下)
野草の調査と保護 (掛下・黒川)
カエル調査隊担当 (奴賀)

ハンミョウの会 (尾崎)
自然と遊ぼう担当 (大久保・岩淵)
鳥のくらし発見隊 (奴賀)
雑木林ファンクラブ (掛下・黒川)
カワセミファンクラブ (奴賀)

森の絵本づくりの会 (大久保)
定点カメラで動物調査 (大久保)
ゴロ報担当 (大久保)



【報告・参加者募集】 保安全管理フォローアップの会（3/3） 保安全管理懇談会（3/10）

保安全管理懇談会：今年度の環境管理についてふり返り、草刈時に残す植物のリスト、カシの森の希少種の保全、補修工事等についてご意見いただきました。（友の会 9 名、市役所 4 名、レンジャー 3 名）
フォローアップの会：桜林の植生管理についてふりかえり、雑木林ファンクラブの炭小屋裏のスギ・ヒノキ間伐についてご報告いただきました。次年度の課題として、桜林のモニタリング、ピクニック広場の利用・保全の検討が挙げられました。（友の会 11 名、市 1 名、レンジャー 3 名）
★次回フォローアップの会は 5/13 13 時～15 時に行ないます。引き続きご参加ください。

【報告】 アライグマ(特定外来生物) 12 頭捕獲しました

友の会の有志の方の協力を得て行っているアライグマによる生態系被害を防ぐため捕獲事業が今期も終了しました。11 月 28 日から 3 月 8 日の間、アライグマ 12 頭とタイワンリス 1 頭を捕獲しました。また、疥癬病のタヌキ 3 頭を金沢動物園に搬送していただきました。巡回やワナの設置などには 10 名の方にボランティアで協力していただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。引き続き横浜市と計画を検討しますので、今後ご協力のほどよろしくお願いいたします。

イベントサポーター大募集！初参加でも歓迎です。

プロジェクトをこえて活動してみませんか？ 各回 2 名以上のサポーター募集中です。半日参加できます。

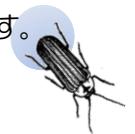
森のクイズラリー

- ◆日時：4月28日（土）～30日（月・祝）、5月3日（木・祝）～6日（日）10:00～15:00
スタートとゴールの受付やポイントでのクイズ解説、参加者の案内などをお願いします。
- 集合：9 時 自然観察センター研修室 ■解散：16 時過ぎ



ゲンちゃんハイちゃんの紙芝居劇場

- ◆日時：9日（日）、16日（土）19:00～20:00（雨天の場合は翌日）
ホテルの観察マナー普及のための紙芝居の上演、上演補助や、来園者誘導などをお願いします。
 - 集合：17 時半 自然観察センター研修室 ■解散：20 時過ぎ
- くいずれも、レンジャー大久保までご連絡ください！E-mail：ohkubo@wbsj.org>



ボランティアさん

** 2/1～3/31 **

ありがとう



- 2/1～ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供
- 2/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供
- 2/7 雑木林ファンクラブのみなさま 危険木処理のご協力
- 2/11、3/11 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供
- 2/17 雑木林ファンクラブのみなさま CSR 活動受け入れのご協力
- 2/28 岡田昇さん 動物園へ疥癬タヌキの運搬のご協力
- 3/3 雑木林ファンクラブ 藤原功さん 鋸のメンテナンス
- 3/7 雑木林ファンクラブ 大越徹朗さん 展示物の修理
- 3/13 大浦晴壽さん 石川裕一さん アライグマ用ワナの回収と洗浄のご協力
- 3/14 雑木林ファンクラブのみなさま 外来種ヤマモモの伐採のご協力
- 3/21 雑木林ファンクラブ 片岡章さん 展示物取り外しのご協力



行先：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）
〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892
E-mail:yokohama-nc@wbsj.org http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/

行事スケジュール 4月～6月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

●トンプ池を掘ろう →1ページ参照
5/6(日) 9:10～ 少雨決行
対象：会員(中学生以上限定) 申し込み不要
集合：自然観察センター前

●森の作業体験(炭焼き) →6ページ参照
5/19(土) 9:00～14:00
対象：小学生以上30名(小学生は保護者同伴)
申込：5/11までに FAX かメールで。先着順。
場所：横浜自然観察の森 炭小屋

●安全管理講習「円海山緑地での安全な市民活動と利活用」 →7ページ参照
6/2(土) 13:30～15:00
場所：自然観察センター研修室
申込：5/27までに、プロジェクトのリーダー
経由または定例会メーリングリストで中塚(安全管理担当理事)まで

●自然観察センター主催行事●

■【森のクイズラリー】
鳥のさえずりを聞き、オタマジャクシや花に出会いながらクイズに挑戦しよう。

開催日：4/28(土)～30(月・祝)、
5/3(木・祝)～5/6(日)
受付時間：10時～15時(所要時間60分)
対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
当日受付、申し込み不要

■【ゲンちゃん・ハイちゃんの紙芝居劇場】
6/9(土)、6/16(土)、6/23(土)
19:00～20:00
対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
申し込み不要

●共催 定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜
～友の会の活動内容紹介とルールを～
6/17(日) 9:30～14:00 雨天催行
受付：直接、自然観察センターの研修室へ
対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

発行日 2018年4月15日
発行 横浜自然観察の森友の会
F A X 045-894-8892
E-mail: kansatsunomori@gmail.com

●友の会 定例行事●

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)
～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
5/6(日)・6/3(日)
1回目 11:00～ 2回目 13:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●定点カメラで動物調査 →6ページ参照
5/12(土)、6/9(土)
9:30～12:00
※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。
対象：友の会会員向け
持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参
集合：ゴロスケ館集合
活動日：5月～11月の毎月第2土曜日

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)
～のんびり楽しむバードウォッチング～
5/13(日)・6/10(日)
9:00～13:00 少雨決行
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう
～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～
5/16(水)・6/20(水)
10:30～12:00 絵本作製
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう
～生き物にあふれた畑を目指して～
5/19(土)・6/16(土)
10:00～12:00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)
～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～
5/26(土)・6/23(土)
1回目 13:00～ 2回目 14:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：子どもから大人までどなたでも
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜